

## 研修実施報告書

### 研修名

2025 強度行動障害支援者フォローアップ研修

### 法人名

社会福祉法人 光友会

### 開催年月日

2026 年 1 月 17 日 (土)

### 開催場所

神奈川県労働文化センター ホール

### 研修の目的

本研修は、強度行動障害支援者養成研修を修了した支援者を対象に、学んだ知識や技術を振り返り、実践現場での課題を共有しながら支援力の向上を図ることを目的としています。

修了者の多くが、「学んだことを現場で活かしきれていない」「支援に行き詰まりを感じている」といった課題を抱えています。その背景には、職場内で支援を共有できる仲間の不足や、相談・学びの機会の欠如があります。

本研修では、実践報告・講義・ワークショップを通じて課題を整理し、支援者同士のネットワークを形成する場を提供します。参加者同士が「つながる・まなぶ・支える」関係を築き、支援の質と連携力を高めていくことを目指します。

### 研修の内容

別紙参照

### 研修の成果（今後地域に活かされる点を必ず記載）

研修を通して、強度行動障害支援に関わる支援者が、行動を表面的な「問題」として捉えるのではなく、本人の特性や環境との相互作用として理解し直す視点を再確認し、実践につなげる力を高めることができました。特に、冰山モデルを用いた講義およびワークシ

トップ、実践報告を通じて、支援の組み立て方や評価・振り返りのプロセスを具体的に学ぶ機会となり、基礎研修で得た知識が現場実践と結び付いた点は大きな成果であります。

アンケート結果からは、「明日から現場で取り組みたい」「自事業所でも実践できそう」といった声が多く、研修内容が参加者の現場課題に即しており、行動意欲の喚起につながったことがうかがえます。これは、支援技法の習得にとどまらず、支援者自身の姿勢や視点の転換を促す研修であったことを示しています。

また、研修では、事業所や地域を越えた支援者同士の交流を重視し、「つながるタイム」やグループワークを通じて意見交換や情報共有を行いました。強度行動障害支援の現場では、支援者が孤立しやすく、相談先や学びの機会が限られるという課題がありますが、研修は、同じ課題意識を持つ支援者同士がつながり、互いに支え合う関係を築く契機となりました。この点は、支援の質の向上だけでなく、支援者のエンパワメントや人材定着の観点からも、地域にとって重要な成果であります。

さらに、冰山モデルが個人の思考整理ツールにとどまらず、チームや組織で共有できる「共通言語」として機能し得ることが確認されたことも、今後地域に活かされる点として挙げられます。参加者からは、「事業所内のケース会議で活用したい」「コアメンバーを中心に取り組みたい」といった具体的な意向が多く示されており、本研修の成果が各事業所へ波及し、支援の標準化や質の底上げにつながることを期待されます。

一方で、職員間の理解の差、人材不足、管理職層の理解不足、環境調整への抵抗といった地域・組織共通の課題も明らかとなりました。これらの課題に対して、本研修で形成された支援者ネットワークは、今後、地域における相談・助言、実践共有の基盤として活用されることが期待されます。継続的なフォローアップ研修や、地域拠点・中核的人材と連携した支援体制づくりを進めることで、研修成果を一過性のものにせず、地域全体の支援力向上へとつなげていくことが可能であります。

以上より、本研修は、強度行動障害支援における実践力の向上と支援者同士のネットワーク形成という両面において成果を上げており、今後、各事業所・地域における支援の質の向上、持続可能な地域支援体制の構築に寄与する取り組みであったと評価できます。

## 研修の参加者

### 【全体人数】

受講者数：64名 講師：3名 コーディネーター：1名 実践報告者：2名

ファシリテーター：13名 事務局：4名

オブザーバー：9名

合計 96名

【当該法人の参加人数】

受講者数：2名 事務局：4名

合計 6名

【当該法人以外の参加人数】

受講者数：62名 講師：3名 コーディネーター：1名 実践報告者：2名  
ファシリテーター：13名 オブザーバー：9名

合計 90名